

今年は6つの国から9名の皆さんが出演し、なぜ日本に来たのか?来日してからの驚き、失敗、そして触れたあたり。関口審査委員長からは「今年は、皆さんが本当によく頑張られて、レベル差がなく、審査委員泣かせでした」とい

上位2名の受賞者へ、インタビュー!

質問

- ①スピーチコンテストに参加した理由
- ⑤日本語で話しても通じなくて困ったこと

最優秀賞

ベルモイ ジェイシャリン ミラさん【フィリピン共和国】



①大学の進学費用を出して、日本語を学ぶことを助めてくれたおじさんに、日本語で感謝の気持ちを伝えたくて、参加しました。

◎日本語の勉強は難しかったですか?

はい。特に漢字が難しかったです。フィリピンには漢字がないため、日本語の中で一番難しいと思います。何度も書いて、少しずつ覚えました。

③とても緊張して(原稿を)忘れてしまうかと思いましたが、練習していた通りに話せて、ほっとしました。日本語の発音などを教えてくれた、今通っている学校の先生たちのおかげでもあります。自分が伝えたいことを話すことができて良かったです。

◎最優秀賞を取ったことを一番に伝えたい人は?

家族とおじさんです。日本に行くという夢をサポートしてくれて、本当に感謝しています。

④日本人の清潔感は素晴らしいと思います。道路にもゴミは一つも落ちていませんし、日本に来た時に「きれいで良いな」と思いました。

◎逆に「フィリピンの方が良いな」と思ったことは?

知らない人にも話しかけやすいところですね。日本では「忙しそう」「迷惑かけるかな」と感じて、話しかけづらいことがあります。

⑤市役所で手続き(マイナンバーなどの申請)をするときに困りました。でも、市役所には英語ができる通訳の方がいて、おかげで無事に申請できました。手続き自体はフィリピンより早く、「さすが日本」と思いました。

⑥フィリピンで翻訳・通訳の仕事をしていた経験も生かして、日本で働きたいと思っています。



◎取材をして一言

どの発表もそれぞれに心がこもっていて印象深く、とても楽しませていただきました。その中でもジェイシャリンさんのスピーチはひたむきな想いが伝わってきて、胸を打つものでした。多くの人に支えられてきたことに感謝して、次は支える側にというお話に、たくさんの刺激と希望をいただきました。(取材・文:編集ボランティア 相澤弥生)

スピーチ概要

「次は私の番」



「ごめん、大学に行かせてあげられない。合格通知を見せた私に、母はそう言いました。生活が厳しいのです。でも、ある日、母の友達の日系人のおじさんから「学費を出してあげるから、大学に行って日本語を勉強したらいいよ」と言われました。おじさんは「経済的に恵まれているから、それをシェアしたい」と、勉強したい、親戚でもない子ども達をサポートしているのです。おじさんがいなかったら、今どんな生活をしていただろうかと、たまに思います。さあ、次は私の番。おじさんのように、未来を担う子どもたちに手を差し伸べようと思います。

出場者のス



川崎ライオンズクラブ 優秀賞

チー チー ピュー トウエさん
【ミャンマー連邦共和国】



「日本語の発音について」

日本語を習い始めたとき、困ったのは発音でした。日本語にはアクセントという音の高低があって、アクセントを聞き取る力が必要です。たとえば海の「カキ」と果物の「カキ」。果物のカキを発音する場合は、「カ」が低くて「キ」が高いです。これをはっきりさせないと相手は理解できません。発音を間違えて恥ずかしい思いをしたこともあります。発音のレベルを上げるよい方法は、インプット、日本人の話や動画を聞くこと、アウトプット、自分の口から言葉を出すことを並行して練習することです。失敗してもあきらめないで話すことが大切です。



川崎市国際交流協会 優秀賞

ポロ ピエール ジャン エリック シャルルさん
【フランス共和国】



「フレンチたこ焼きマンの初コト」

どうも。「フレンチたこ焼きマン」でございます。ピエールと雄介のコンビです。コトをお楽しみください。うーっ、観客多いね。ピエール、スピーチをやらせておこう。ぼく(雄介)がメモをとるね。えーと、ピエールはフランス人で日本に留学して3年半。お笑いが好きなんだね。フランスのお笑いは日本とどう違うの?フランスでは漫談の方が人気があって、途中でよくお客様に話しかけるんだ。よし。ノートを渡すからスピーチを始めてくれ。え、ピエールはどこ?ピエールは逃げてしまいました。



審査委員特別賞

スン スレニットさん
【カンボジア王国】



「日本に来て思ったことや感謝していること」

私は日本のアニメがきっかけで日本を知り、日本に行きたいという気持ちになりました。カンボジアの王立プンペン大学で勉強していましたが、生まれて初めて飛行機に乗り、交換留学生として専修大学に来ました。日本の冬はとても寒くてびっくり。カンボジアはいつも暑いのでコートは持っていません。日本に来て寒くて買いました。電車の使い方がわかりませんでした。が、やっと使い方がわかった時はうれしかったです。大学の寮では日本料理の作り方を教えてもらい、みそ汁やオムライスもつくっています。たくさん思い出をつくり、一日一日を大切にしていきたいです。



審査委員特別賞

ハー ティ フォン ゴアンさん
【ベトナム社会主義共和国】



「来日前の心配だったこと」

ベトナムの北部からきました。日本に来る前、6ヶ月くらい日本語を勉強しましたが、まだまだ入門です。入国してから1カ月間、平塚の施設で日本語だけではなく法律、習慣、買い物などについて習いました。それから会社に配属されて、先輩から仕事や日本語を教わっています。3年間の目標は日本語能力試験のレベルN2に合格すること。3年間の仕事を終えたら、2年間仕事を延長してN1も取りたいです。今、ユーコープ井田三舞店で弁当をつくっています。もし私をみかけたら、声をかけてくださいね。

語スピーチコンテスト

たかな人情など、さまざまなエピソードや一人二役のコントもありました。
講評もいただきました。

司会のリン ジンギウさん
(右、シンガポール出身)と
顧思廣さん(中国出身)



由 ②テーマを選んだ理由と伝えたかったこと ③スピーチをした感想 ④日本で暮らしてみても「素晴らしい」と思ったこと
たこと ⑥将来の夢や今後の目標

川崎商工会議所会頭賞

テッテッサンさん【ミャンマー連邦共和国】



- ①このコンテストのことは知りませんでしたが、会社の人から「出てみたら」と勧められたのがきっかけです。
- ②日本語を勉強しようと思ったことは一回もなかったのですが、仕事をきっかけに勉強することにしました。すると、日本語におもしろい点がいっぱい見つかったのです。それをお話しようと思いました。
- ③いろんな人に会えてよかったし、着物を着ることができて満足です。
- ④日本は清い環境を持っています。人も優しい。人が道路を渡ろうとしていると車が止まってくれます。ミャンマーではそんなことはあまりないです。相手の心を傷つけるとか自慢することとかは、日本人とは無縁です。たとえば学校で、先生が「1+1は？」と問うと、アメリカ人は「two」、中国人は「er」と答えます。日本人はこうなります。「お世話になっております。ご質問をくださり本当にありがとうございます。いい質問ですね。答えは基本

的に2ではないだろうかと考えております」。日本では、寿司、ラーメン、みそ汁がおいしいです。ミャンマーにもラーメンはありますが、日本のラーメンと味が違います。

- ⑥一旦、帰国することもあります。日本の企業で働くつもりです。これからの目標ですが、日本語で書かれている本をスムーズに読めるようになりたいです。漢字が多いので、今は読み進めるのはなかなかたいへんですが。



取材をして一言

スピーチの内容が私には新鮮でした。電車を乗り間違えて終電に乗れず、交番のお巡りさんの世話になった話、貧困ゆえに合格通知が来ても大学に行けない話、電車の乗り方がわからなかった話。外国人市民5万人の胸の内を知ることが友好推進の一步です。

(取材・文:編集ボランティア 川口俊樹)

スピーチ概要

「日本語に対する私の意見」



日本語の発音は難しいです。たとえば「さん、せん、三千元、さんえん、せんえん」は、すごく難しい。日本に来たばかりのときは、レストランでご飯を食べてお金を払うとき、金額がわからないので持って行ったお金全部を店の人に渡して、店の人がちゃんとしてくれました。日本だから安心ですね。

でも日本語はおもしろい。「好き」という漢字は女と子どもと一緒にして好きという意味にしました。漢字を作った人のきれいな心が感じられます。敬語にも尊敬語と謙譲語があります。おもしろいじゃないですか。

スピーチ概要

川崎ライオンズクラブ特別賞

王璇さん
【中華人民共和国】
「花火大会の夜」



来日してすぐの夏、先輩が花火大会に連れて行ってくれました。アニメの世界にいるような楽しい時間でした。電車で帰るとき、ものすごく混雑していて、途中駅で停車したとき、先輩がどこに行ったのかわからなくなっていました。私の携帯電話も財布も先輩のバッグの中です。私はそのあと、間違えて快速に乗ってしまい、終電に乗れませんでした。不安で涙を流していると、お巡りさんがやってきて、交番に連れて行ってくれました。そして私の携帯番号に電話をして先輩と連絡をとり、タクシーを呼んでくれました。思い出すたびに人の温かさに感謝しています。

川崎市国際交流協会 特別賞

田口 莉奈さん
【中華人民共和国】
「日本の漫画と出会った幸せ」



3年前に中国から来ました。子どもの頃楽しかったのは、友達とテレビの前ですわって漫画を見ることでした。クレヨンしんちゃん、ちびまるこちゃん、ドラえもん。日本でつくられたものだからなんて考えてもいませんでした。大人になり、「千と千尋の神隠し」を観て子どもの頃を思い出して、宮崎駿全集を買いました。来日後はジブリ美術館に行きました。漫画に出てくる場所へ聖地巡礼にも行きました。漫画の作り手の大変さを知り、私は一人のファンとして映画館でチケットを買い、これからも日本の漫画を応援していきます。

審査委員特別賞

マティ ジウさん
【ベトナム社会主義共和国】
「日本に来てからの印象」



3ヶ月前に日本に来ました。羽田空港から平塚市の研修施設まで車の中から外をみてびっくりしました。たくさんの橋や高い建物がありました。日本の車にはクラクションがついていないのかなと思いました。ベトナムではクラクションの音がよく聞こえます。電車に乗る人は、黄色い線まで並んで順番に乗っています。電車は時刻表のとおり走っていて、私は会社に遅刻することもないです。便利です。私はユーヨーブでお弁当をつくって売っています。帰国してからは自分の日本料理の店を開きたいと思っています。

外国人のみなさん、スピーチしませんか

「外国人による日本語スピーチコンテスト」は来年、30回を迎えます!

来日して5年以内。そして、川崎市内に在住、在勤、在学のどれかがあてはまる外国人の皆さん、思っていることをスピーチしませんか。申し込みは、2025年1月中旬ごろ、川崎市国際交流協会に、申込用紙、5分以内のスピーチ原稿、録音データを添えて申し込みください。詳しくは、川崎市国際交流協会に聞いてください。